

第6回 観音寺市新道の駅市民検討委員会 議事要旨

開催日時 令和6年4月3日(水) 19時00分～20時00分
開催場所 観音寺市役所本庁舎2階 201・202 会議室
出席者 委員13名、オブザーバー4名、事務局5名

【会議資料】

- 資料1 新「道の駅」に導入する機能(案)の整理
1) 導入機能(案)
- 資料2 新「道の駅」に導入する機能(案)の整理
2) 導入機能(案)連携図
- 資料3 導入機能(案)概要版
- 資料4 導入機能原案に関するご意見一覧(まとめ)
- 資料5 意見書(案)

【次第】

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題

(1) 新「道の駅」かんおんじ(仮称)導入機能(案)について

事務局: 「資料1」「資料2」「資料3」を用いて説明。

委員長: 説明いただいた内容で、ご質問、ご意見ありますか。

委員長: 「資料3」について、3つに整理はされているが、目玉としては何かは見えにくいところではあります。ただ、他との差別化を考えると、この3つの整理は考えやすくなったかと思っています。

例えば、香川県内で新しい道の駅としては、綾川町の道の駅が数年前にリニューアルされましたが、うどんといちごといった物産の部分で評価されており、また、近くのショッピングモールをつなぐ路線バスが運行されているので、近隣とのアクセスにも意識が向いていると思います。「資料3」②、③の機能あり)しかしながら、訪れてゆったり過ごせる公園や広場は無い道の駅かと思っています。あるいは、香川県で一番新しく登録されている道の駅が、高松市牟礼町の道の駅になりますが、防災機能があり、また、公園的な広場があります。しかしながら、近隣とのアクセスは強化されていないかと思っています。「資料3」①、②の機能あり)さらには、規模が大きいところで、坂出市の瀬戸大橋記念公園も道の駅に登録されておりますが、資料館にもなっており、そのエリアのシンボルとしての情報が集積されています。また、広い公園もあります。しかしながら、飲食・物販施設については、割と小ぶりかと思っています。「資料3」①、③の機能あり)

このように3つの機能が全てある道の駅は、香川県内の道の駅で言うとなかなか無いので、新しい道の駅ではそのようなところをしっかりとやっていくという趣旨では、

上手く整理されていると思います。

委員 A： 飲食スペースに置いてある机や椅子の高さが変えられるようにできると、障がい者の方や高齢者の方などにとって使いやすかったです。また、観音寺市はちょうさ祭りが盛んなまちであるので、ちょうさ会館を活用したり、アニメコンテンツ（結城友奈は勇者である）を活用して、観音寺らしさを表現すると、外部からも来てもらえると思いました。あと、音を観るまちという言葉ともつながり、リラックスできるような音楽やリラクゼーションが流れているような良い雰囲気の広い公園があればゆったり過ごせるのではないかと思います。

委員長： 作業部会でも観音寺らしいシンボルを取り入れてほしいという話題は出てきており、作業部会員の方の中からも、「ちょうさ」というワードはたくさん出てきていましたので、ちょうさ会館との連携は何らかの形で活用していきたいというのは盛り込んでいっているところです。それから、音を観るまちならではの要素を、ゆったり過ごせる空間の中で展開してほしいところも観音寺らしさの表現かと思います。特に重要だったのが、多様性のある方々への対応を新しい道の駅でしっかりやっていくということ、機能が具体的に見えてきたところで考慮する事項として考え始めなければいけないスタートに立てたかと思います。このような点で、事務局で何か考えていることはありますか。

事務局： 誰もが使いやすい施設になるよう、今後も検討していきます。

委員 B： 先日、徳島県の道の駅「くるくるなると」に行ってきましたが、インパクトのあるモニュメントが置いてあり、若い方からご年配の方まで写真を撮られていたので、そのようなものも取り入れても良いと思いました。また、施設の中の物産展などにたくさんの商品が置いてありましたが、徳島県産以外のももあり、購入されていた方もいたので、地産地消を取り入れつつ、他の土地のものも取り入れたら良いかと思いました。

委員長： 道の駅「くるくるなると」の施設の前に、なると金時芋の輪切りの大きいモニュメントがあり、訪れたらまずそこで写真を撮っている方々が多く、シンボリックな場所になっていると思います。また、設計をするときに実際検討しなければならないと思います。このような点で、事務局で何か考えていることはありますか。

事務局： 写真映えスポットについては、設計段階で検討したいと思います。また、観音寺の産品が一番輝くことを念頭に入れながら、観音寺産以外のものを購入できるようにやっていこうと思います。

委員長： 最近だと全国の道の駅の交流もあったりして、以前、長野県の道の駅で関わった際も静岡県や新潟県と仲良くしている事業者の方がおり、それらの物産を集めてフェアを行う展開もありました。観音寺でも市民向けの施設というような特徴も基本構想の段階から打ち出ししているため、他の土地のものが、ある時期に売っているのであれば訪れようかと思うような展開も運営事業者決定後に色々考えていけたらと思います。また、障がい者対応のものというのは、特別にスペースを用意するという形で離れたところにあるような整備の仕方に対応することが多いかと多いですが、工夫の

仕方で全ての方に多様に使える幅広いユニバーサルデザインもあったりするので、設計をするときは、そのような点も考慮しつつ考えていけたらと思います。

委員 C： 前々から中四国最大級という言い方をしていましたが、中四国最大級という言葉は残しつつ計画するという理解でいいですか。

事務局： はい。基本計画を策定するときには、何をもって中四国最大級なのか表現させていただきます。

(2) 新「道の駅」かんおんじ（仮称）導入機能（案）にかかる意見書（案）について

事務局： 意見書（案）の文面に「誰もが使いやすい」という意図を追加する旨を伝え、「資料4」「資料5」を用いて説明。

委員長： 本日の意見を踏まえ、事務局は意見書の調整をお願いします。

～意見書（案）の修正～

事務局： 本日の意見を踏まえ、修正した意見書（案）を作成し、委員に配付、読み上げ。

委員長： 修正等がありますか。特になければこちらで意見書（案）とします。

事務局： 意見書の伝達は、4月12日（金）午後1時から観音寺市役所4階市長応接室で行います。本委員会を代表して、山崎委員長と角崎副委員長は出席をお願いします。また、報告日までに軽微な変更や字句等の訂正がありましたら、委員長に一任してよろしいでしょうか。

委員全員： 了解。

事務局： ありがとうございます。

(3) その他

事務局： 第7回市民検討委員会は、交通処理対策や導入可能性調査の内容が固まってくる今年の夏頃から秋頃にかけて開始する予定ですので、決まり次第、開催前に事前にお伝えさせていただきます。

4 閉会